

全国の強豪が集まった全日本還暦軟式野球選手権大会の開会式―上毛新聞敷島



全日本還暦野球大会が開幕

全国64チーム 気合十分

第32回全日本還暦軟式野球選手権大会（全日本還暦軟式野球連盟主催）が30日開幕し、全国から64チーム約1300人が集まり、前橋市の上毛新聞敷島球場で開会式が行われた。本県から5チーム約140人が出場し、頂点に挑む。 **関連記事 28面**

本県を代表して、前橋還暦ボーイズの狩野康二主将が「生涯スポーツの野球を楽しみながら正々

堂々プレーします」と力強く宣誓。連盟の曾我部勝夫会長は「白球を追いかける姿を社会に発信してほしい」と激励し、県の村手聡副知事が「全国の仲間とも交流を深めてほしい」と祝辞を贈った。

還暦野球は本県が発祥の地とされ、本年度中に60歳以上になる人が出場対象。全日本大会の本県開催は18年ぶり4度目となる。試合は1～4日。



はつらつとした踊りで会場を盛り上げた前橋八木節協会のメンバー



選手宣誓する前橋還暦ボーイズ狩野主将
―上毛新聞敷島

全日本還暦野球

大きな声で 選手宣誓

前橋ボーイズ
狩野主将

○…全日本還暦軟式野球選手権の開会式で選手宣誓の大役を担ったのは前橋還暦ボーイズの狩野康二主将。全国大会の地

元開催は18年ぶりであったと緊張したというが、64チームの旗に囲まれながら、はきはきとした大きな声で宣誓した。開会式後は「間違えずに言え」と笑顔だった。

優勝経験がまだない前橋還暦。狩野主将は「全国には思いもよらない強いチームがいる。まずは1回戦の勝利を目指す」と、冷静に初戦を見据えていた。